

橈骨遠位端骨折を契機に脆弱性骨折が連鎖する要因の検討

1. 研究の対象

2017年1月1日から2020年6月30日の間に当院で治療した40歳以上の橈骨遠位端骨折患者さんで性別は問いません。

2. 研究目的・方法

橈骨遠位端骨折(手首の骨折)の治療を受けた際の診療記録から年齢、性別、受傷機転(立った高さ以下の高さからの転倒、自転車の転倒、脚立や階段からの転落、スポーツや労災など)、手術治療の要否、骨密度測定値などの情報を収集します。また橈骨遠位端骨折の治療を受けた症例がさらなる骨折を受傷して当科を受診しているかどうかを探索します。その結果から、橈骨遠位端骨折の患者さんをその後骨折を受傷した症例と骨折を受傷していない症例に分け、年齢、性別、受傷機転、手術の要否、骨密度測定値を比較することにより、その後さらなる骨折を受傷した症例の特性を明らかにします。特性が明らかになれば橈骨遠位端骨折後にどのような症例には二次骨折予防を講ずるべきかが明確になると思います。

病院長に研究が許可された日から電子カルテより情報の収集を行い、2023年3月末日までに終了する予定です。

3. 研究に用いる情報の種類

橈骨遠位端骨折で治療を受けた患者さんの診療記録から年齢、性別、受傷機転(立った高さ以下の高さからの転倒、自転車の転倒、脚立や階段からの転落、スポーツや労災など)、手術治療の要否、骨密度測定値などの情報を収集します。

また、これらの症例がさらなる骨折を受傷して当院を受診していないか探索します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒438-8550 磐田市大久保5 1 2 - 3 磐田市立総合病院 整形外科

電話 0538-38-5000

研究責任者 磐田市立総合病院 整形外科 山崎薫